# 第2回
# 災害用物資・機材等の備蓄の在り方検討会議

日時：令和８年２月１９日（木）

午前１０時００分～

場所：県庁６階　災害対策本部室

# １　第１回検討会議からの動き

# １　第１回検討会議からの動き

## 現状

　国（内閣府）においては，備蓄目標の考え方に関して，災害備蓄が必要な品目や数量を整理した自治体向けのガイドラインを策定することとし，令和８年度中を目途にまとめる方針であることが明らかになった（令和７年度補正予算）。



【対応】

　検討会議を令和８年度まで継続し，国のガイドライン策定の検討状況やその結果等を踏まえ，備蓄の在り方の検討を行い，備蓄物資の充実を図るため，令和８年度予算において，引き続き検討会議の開催に係る予算を要求したところ。

# １　第１回検討会議からの動き

## 検討項目

① 県全体で保管すべき備蓄について　→　令和８年度検討
- ・保管すべき備蓄品目及び数量（品目ごとの算出方法や考え方など）
- ・最大想定避難者数の考え方　など

② 県と市町村の役割分担について　→　令和８年度検討
- ・①における県及び市町村の役割　など

③ 県としての備蓄の目安について　→　令和８年度検討
- ・県において備蓄すべき品目及び備蓄が望ましい品目（基本品目及び基本品目以外の独自品目）
- ・品目ごとの備蓄量　など

# １　第１回検討会議からの動き

## 検討項目

④　県備蓄物資の保管場所・保管方法について　→　今回協議
・保管場所や保管方法で留意すべき事項　など

⑤　輸送手段について　→　令和８年度検討
・備蓄物資の市町村拠点への輸送において留意すべき事項　など

⑥　流通備蓄について　→　今回協議
・事業者との協定等において更に取り組むべき事項　など

# ２　第１回検討会議のご意見等について

## ２　第１回検討会議のご意見等について

### ①県全体で保管すべき備蓄について

○　基本８品目については，県においても確保すべきではないか

○　医薬品等の備蓄は流通備蓄でいいのか，避難生活が長期化していくようであれば，必要最低限の範囲で備蓄を行う必要があるか

## ２　第１回検討会議のご意見等について

### ②県と市町村の役割分担について

○　本土と離島といったエリアごとに，県と市町村が持つべき割合を検討

○　食料や資器材などの品目ごとの割合を検討

○　能登半島地震の際は，1.5次避難や2次避難者への支援は，県が主体となっていたことから，そのような役割が期待される

○　県民一体的には，自助の部分も検討が必要

# ２　第１回検討会議のご意見等について

## ③県としての備蓄の目安について

○　避難者数には，指定避難所にいる方，在宅避難者，車中泊など1.5次避難，２次避難も含めるのか検討する必要がある

○　備蓄をしようとする物品の前提となる避難自体をどれくらいのスパンで考えるのか

# ２　第１回検討会議のご意見等について

## ④県備蓄物資の保管場所・保管方法について

○　備蓄品の保管場所に偏りがある
（本土においては防災研修センターに集中している）

○　三島村や十島村など少し配慮する必要がある

○　孤立の場合，市町村が分散備蓄しても届かない地域があることもあり，県としての在り方や住民の備えも必要

○　県有施設（県立高校など）も保管場所となりえるのではないか

# ２　第１回検討会議のご意見等について

## ④県備蓄物資の保管場所・保管方法について

○　どのような施設に，どのような保管方法とするのか
　また，場所の検討は，例えば「薩摩半島，大隅半島」や「本土，離島」
　など分けて議論してはどうか

# ２　第１回検討会議のご意見等について

## ⑤輸送手段について

○　県の物資拠点から市町村の物資拠点への輸送のその先も含めて検討が必要

【現状】（「県災害時受援計画」抜粋）

・市町村は，配分された物資を避難所等に輸送し，被災者へ配布する。

なお，被害状況等により市町村物資拠点から避難所等への輸送が困難な場合には，市町村は，県災害対策本部または県現地災害対策本部に対し，輸送を要請することができる。

# ２　第１回検討会議のご意見等について

## ⑥流通備蓄について

○　流通備蓄の協定締結先を増やしていくことも考えられるのか

○　ランニングストック型の流通備蓄の可能性がないか

# ２　第１回検討会議のご意見等について

## その他について

○　物資保管も含めた全体マネジメントが行える人材育成も重要

○　国のガイドラインの動向については，分かり次第情報共有する

○　フードロス削減に向けたフードバンクや地域との連携

○　プッシュ型支援物資の保管場所，保管の仕方の工夫

# ３　事務局の対応案について

# ３　事務局の対応案について

## 基本８品目については，県においても確保すべきではないか

○　国の示す被災者の命と生活環境に不可欠な物資とされる基本８品目のうち，県で備蓄をしていない品目（乳児・小児用おむつ，トイレットペーパー）を購入するよう令和8年度当初予算案に計上。

これまでの県の考え方である避難者８，０００人の１割で算出。

・小児用おむつ・・４２９枚　（※R2国勢調査 0～2歳35,440人）

・トイレットペーパー・・４３２巻

# ３　事務局の対応案について

## 備蓄品の保管場所に偏りがある




| エリア | 人口(割合) | 最大想定避難者数 |
|---|---|---|
| 鹿児島 | 668,916(42.1%) | 53,600 |
| 南薩 | 125,011( 7.9%) | 3,170 |
| 北薩 | 193,615(12.2%) | 11,830 |
| 姶良・伊佐 | 233,055(14.7%) | 7,750 |
| 大隅 | 223,828(14.1%) | 13,940 |
| 熊毛 | 39,550( 2.5%) | 2,600 |
| 大島 | 104,281( 6.6%) | 18,050 |

※人口は令和2年国勢調査
※最大想定避難者数は，H26年鹿児島県地震等災害被害予測調査から各市町村の最大想定を合算したもの
※必要備蓄量は，令和7年7月の通知（R7.7.1「災害対策基本法等の一部を改正する法律について」）において，目に係る，避難所避難者数等を前提とした最低必要量の算出式の例による
※現有備蓄量は，令和7年1月に国が公表した全国の地方公共団体における備蓄状況に関する調査結果

# ３　事務局の対応案について

## 備蓄品の保管場所に偏りがある

【九州各県における保管場所の状況（R6.12現在）】

- 鹿児島県　14か所（県庁舎，各地域振興局ほか）
- 福岡県　　7か所（県庁舎，各総合庁舎ほか）
- 佐賀県　１４か所（各出先事務所）
- 長崎県　　8か所（備蓄倉庫，各振興局）
- 熊本県　１２か所（各地域振興局ほか）
- 大分県　１６か所（県庁舎，各総合庁舎ほか）
- 宮崎県　　8か所（県庁舎，各総合庁舎ほか）

（出所:県危機管理課調べ）

# ３　事務局の対応案について

## 備蓄品の保管場所に偏りがある

○　本県の地理的特性を踏まえて，保管場所を検討する

【協議事項①】
　被災地まで迅速かつ効率的に物資の供給を可能とするよう，備蓄保管場所の検討をする

# ３　事務局の対応案について

## 三島村や十島村など少し配慮する必要がある

○　三島村や十島村については，両村と協議の上，県備蓄物資の分散備蓄を検討する

【協議事項②】
分散備蓄を行う際の数量等の考え方

# ３　事務局の対応案について

## 流通備蓄の協定締結先を増やしていくことも考えられるのか

○　新たな流通備蓄の業者について検討する

○　ランニングストック型の流通備蓄の業者について検討する

（参考）
流通備蓄については，県の備蓄物資が不足する場合に備えて，関係事業者と協定を締結しており，迅速に物資の優先確保が図られる体制を確保している

【協議事項③】
現状の協定締結事業者を踏まえ，新たに締結するべき分野があるか。

# ３　事務局の対応案について

## 流通備蓄の協定締結先を増やしていくことも考えられるのか

【流通備蓄協定締結事業者に要請できる物資】

○　食料品等応急生活物資（通常店舗で取り扱う商品）・・・10者
（株）タイヨー，（株）南九州ファミリーマート，鹿児島県パン工業協同組合
（株）山形屋，（株）山形屋ストア，コカコーラボトラーズジャパン（株）
イオン九州（株），鹿児島県生活協同組合連合会，（株）セブンーイレブン・ジャパン
（株）ローソン

○　日用品等応急生活物資（通常店舗で取り扱う商品）・・・１者
NPO法人コメリ防災対策センター

○　畳等・・・１者
鹿児島県畳工業組合

# ３　事務局の対応案について

## 流通備蓄の協定締結先を増やしていくことも考えられるのか

【流通備蓄協定締結事業者に要請できる物資】

○　段ボール製品
（段ボール製簡易ベッド，段ボール製シート，段ボール製間仕切り 等）・・・１者
南日本段ボール工業組合

○　フードバンク食品・・・１者
NPO法人フードバンクかごしま

○　レンタル機材（仮設トイレ，発電機，照明機器，荷役又は輸送機材 等）　・・・１者
（株）アクティオ

# ３　事務局の対応案について

## 保管期限等がない備蓄物資の保管方法について

【下記の物資を備蓄】

○　テント，マスク，毛布，段ボールベッド，段ボールパーティション，段ボールハウス，防寒シート，ブルーシート，バスタオル，タオル，簡易トイレ

【協議事項④】
　現状ローリングストックは行っておらず，保管期限等がない物資の更新等の考え方

# ４　今後の予定について

# ４　今後の予定について

## スケジュール案（検討会議の開催時期）

- 令和８年度に３回程度開催予定
- 次回は８月頃の開催を予定
- 令和８年度中に検討会議の意見を踏まえて，
  災害用物資・機材等の備蓄の在り方（仮称）を策定予定。